

校長室だより

中 緑 鷹

第 33 号

令和7年12月12日（金）

〔発行者〕 三苫 淳一

スローガン：○凡事徹底で生活の基礎固め～基本的生活習慣のレベルアップ

○全力燃焼～過程（プロセス）重視

12月7日（日）～9日（火）修学旅行に行ってきました。コロナウィルス感染症による様々な制限解除後、2回目の関西方面への修学旅行でした。3年で見直しなっていますので、現在の7年生までは、昨年度・今年度同様の旅程です。来年度、大きく変わるのが2日目に予定されている京都自主研修の交通手段です。従来通りの「タクシー」利用か、「公共交通機関」利用かが学校選択になります。「公共交通機関」に変更した場合、

＜メリット＞①移動費用が安い

②目的地までの交通手段を考える楽しさがある

③周りの人に道を聞いたり、班内での会話が多くなったりして、コミュニケーション能力が鍛えられる

＜デメリット＞①移動に時間がかかる（計画通りに研修できない場合がある）

②迷子等のトラブルが生じた場合、生徒自身で対応することになる 等が考えられます。

一番懸念されるのが、移動に時間がかかり予定通りの研修ができないことです。現在、一部の外国人が来日を自粛していますが、それでも観光客は多く、来るバス来るバスがほぼ満員の状態でとても乗られません。今年泊まった八坂神社近くの宿と金閣寺は直線距離で約6km離れていましたが、私は「歩き+電車」で、他の教員は「タクシー」で金閣寺に向かい、到着にどのくらいの時間差ができるか実験してみました。起きたハプニング（トラブル）として、下車駅を間違えることもオマケしてみました。（電車は10分間隔だったので、降りた駅から一駅歩き、再度電車に乗りました）

歩き+電車 1時間40分（乗合せの待ち時間・ハプニングの20分含む） 歩きでの移動距離 約4Km
タクシー 30分 (歩いた一駅分1Km含む)

歩きでしか見られない風景を楽しみながら京都の街を散策できたり、移動手段や乗り換えを考えるのはとても有意義でしたが、子どもたちに楽しむ余裕があるかどうか…。自分たちで計画を立てて「神社・仏閣」や「観光名所」を巡ることが京都研修の目的ですが、どこに「重き」を置くかで判断が変わってくると思います。いずれにしても7年生の保護者のみなさんの意見を尊重しますので、学年末か来年度の4月の懇談会で話題にし、決定することになります。



初日（奈良・法隆寺と東大寺）の感想

○法隆寺では聖徳太子について学んで、仏像を見たりしました。迫力がすごかったです。（木下愛美さん）

○五重塔にカマがかけられていてびっくりしました。それぞれの像に思いが込められていることが分かりました。（黒川涼くん）



2日目（京都タクシー自主研修）の感想

○二年坂では美味しいものをいっぱい食べることができました。（梅村空弥くん）

○金閣寺の外国人インタビューではとてもやさしい人が答えてくれました。写真も撮ってくれたので嬉しかったです。金閣寺は画像よりもキラキラしていました。（河津杏実さん）

○伏見稻荷大社、清水寺（二年坂）、金閣に行きました。タクシー運転手さんの人柄の良さにびっくりしました。僕も気づかいのできる人になりたいです。（菜野武美くん）

○重軽石は思っていたより軽かったです。願いが叶うといいな。（渡辺百華さん）

○インタビューしたのはデンマーク人でした。気がついたら7人に囲まれていて怖かったです。でも優しい人たちでした。（河津りりかさん）



3日目（ユニバーサル・スタジオ・ジャパン）の感想

○アトラクションも2つ乗ることができました。ジェットコースターでは浮く感覚が怖かったです。（江田楓華さん）

○フライングダイナソーは怖くて不安だったけど、乗ったら楽しかったです。（松長優奈さん）

○途中はぐれた人がいてどうなるかと思ったけど、無事再会できてマリオワールドに入れました。（川述煌紗さん）

○1つしか乗れなかっただけど、たくさんお土産を買いました。人が多くてとても疲れました。（竹田穂乃香さん）

